

会議要旨

会議の名称	令和3年度第1回川越市伝統的建造物群保存地区保存審議会
会議日時	令和3年11月17日(水) 午後2時00分 開会 ・ 午後3時40分 閉会
開催場所	川越市役所本庁舎 4階 4A会議室
議長(会長)氏名	会 長 福川 裕一
出席者(委員)氏名	委 員 溝尾 良隆、田口 陽子、佐藤 由美子、 須賀 憲、隈倉 雄二郎、竹澤 穰治 7人
欠席者(委員)氏名	委 員 中山 昌克、栗岡 眞理子、石村 晃龍、 平野 薫、原 知之 5人
傍聴者	なし
事務局職員 職 氏名	都市計画部副部長兼都市景観課長 福釜 周二 都市景観課 副課長 粕谷 勝 主 幹 木屋野 憲数 主 査 河野 由季 主 任 福田 吉宏
会議次第	1 開会 2 新任委員紹介 3 議題 4 報告事項 (1) 伝建地区保存整備事務について (2) 令和2年度国庫補助事業について (3) 令和3年度国庫補助事業について 5 その他 6 閉会

議 事 の 経 過

1. 開会

2. 新任委員紹介

3. 議題

なし

4. 報告事項

(1)伝建地区保存整備事務について

事務局から、令和2年度の伝建地区保存整備事務について説明。

【委員からの主な意見、質問及び事務局からの回答】

- ・ 伝統的建造物候補の実測調査は、どのような経緯で実施したか。
↳回答：管理者の代表から伝統的建造物特定の意向を受け、調査を実施した。調査の結果、十分に伝統的建造物として特定できる建造物であるとの調査結果が得られた。
- ・ 伝統的建造物群保存地区になる当時から、当該建物の特定について町内で様々な意見がある。
↳回答：伝統的建造物の特定を積極的に進める段階まで来ていないことは認識している。
- ・ 蔵は壊さないようにしたい。

(2)令和2年度国庫補助事業について

事務局から、修理事業3件について報告。

【委員からの主な意見、質問及び事務局からの回答】

- ・ 2件の修理事業について、同時期に損傷したものか。
↳回答：同時期に損傷に気が付いたが、損傷した正確な時期はわからない。
- ・ 外壁が塗装された建物の場合、定期的に塗装しないと長く持たない。
- ・ 所有者は専門的知識が少ないので、専門家に係わってもらう仕組みがあると良いだろう。
↳回答：修理相談の場合、出入りの業者が建物の損傷に気が付いて相談にくることが多く、それぞれの建物の出入りの業者の把握を進めている。また、伝統的建造物136件のカルテを作成しており、基本情報の入力完了し、各建物の修理履歴の作成に着手している。
- ・ 例えば、歴史的風致維持向上支援法人に、所有者と行政の間に専門家として入ってもらい、組織的にできると良い。
↳回答：今後の課題としたい。予算化や資金調達などについても研究したい。
- ・ 伝統的建造物に特定されていない建物の損傷状況も心配だ。

(3)令和3年度国庫補助事業について

事務局から、修理事業4件、景観事業2件について報告。

【委員からの主な意見、質問及び事務局からの回答】

- ・景観事業について、建て替えのきっかけは何か。
 - ↳回答：建て替えは所有者の意向によるものである。数十年前からの地元の尽力で、様々な情報が時間を経て馴染み、より景観に配慮された外観の建物となる、良い事例である。
- ・海外で住宅の外壁の塗装は、3年に1回の仕事といわれていた。著しく損傷する前に、3年や5年など定期的に塗装してもらえるとより良い。

5. その他

・NHKの番組「よみがえる新日本紀行」について

令和3年10月17日の午前6時に放送されたNHKBSプレミアム、BS4Kの番組「よみがえる新日本紀行」で川越の蔵造の町並みが放送されたことについて事務局から紹介した。

- ・伝統的建造物群保存地区周辺における建造物活用の良い事例について
- ・伝統的建造物群保存地区及び周辺における諸課題について

6. 閉会